



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No.19

令和7年 1月 8日

文責：校長 齋藤和彦

第3学期の始まり..はじまり！

「チューリップ球根もがんばっています」



～1年生の皆さんが大切に育てているチューリップ球根。

全国的な寒波に包まれた冬休みの間も..今日も..中庭の土の中でがんばっていますね。

チューリップの球根は、寒い冬を越さない
と芽を出すことができないのです。

【※ 低温を経験してから春の暖かさを感じると、芽を出すことができます。暖かいところばかりにいては芽を出せないのです。】

チューリップ球根は、3月4月に..ほっこり暖かくなると、お花を咲かせてもいい頃だと..芽をぐんぐん伸ばして蕾をつくります。

みなさんと同じです。皆さんもいつも暖かいところで..好きなことばかりしては、困ったことや悩みごとを自分の力で乗りこえるたくましい力は育ちませんね。

学校では、苦手なことに挑戦したり、友だちとの意見の違いや困りごとに出会うことがあります。学級では約30人（学校全体では約500人）の友だちと一緒に生活しています。～この中では当然..人と人が生活していれば、様々なこと..問題が起きます。

これらを解決したり..仲なおりしたり..折り合いをつけたりして..皆さんが中学校や大人になって..様々な困難にも逃げずに乗りこえていけるたくましい力が必要になります。

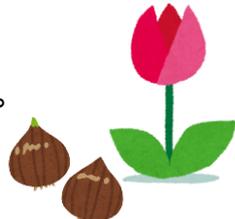
乗りこえたあとに..チューリップのような蕾をふくらませて、きれいな花を咲かせられるように育ててほしいのです。

でも、鉄棒やなわとび、勉強も、苦手なことや様々な困りごとにも挑戦したり、自分の力だけで乗りこえることは大変なことですね。

そんなときは、「先生..困っているんです」「先生..がんばったけど、できないんです」と、何でも、先生に相談してくださいね。

これに挑戦する皆さん..がんばろうとする皆さんを先生方は全力で応援します。

3学期も友だちと先生と
いっしょにがんばっていき
ましようね。



新年度の薫小

『こんな学校に..(像)』

今、「R7薫の教育～計画」を作っています。新年度は、どんな学校に..どのような子どもの育つ姿をめざしていくか..を描きます。

職員会議で..この計画編成会議の折々に..校長から全職員に、『こんな学校に..(像)』を願い(祈り)のように伝えています。

【子どもが子どもらしく育つ(いられる)学校】

～こんなこと..あたり前と思われるかもしれませんが、なかなか難しい昨今です。



日々の授業があたり前に穏やかに成立して..時に教室から子ども達と先生の笑い声が聞こえてくる..薫。

「今日も楽しかったあ～」と黄色い帽子の列がびよんびよんしながら帰っていく..薫。

ずっと..ずっと..こんな薫であってほしい。

【特別支援】わかる/できることが楽しい！

→ 一人ひとりに応じた学び方で

【低学年】 学校が楽しい！

→ 学ぶ楽しさを存分に(先生にほめられて)

【中学年】 仲間とのかかわりが楽しい！

→ 多様な学び方を存分に(仲間とともに)

【高学年】 自分でできる(できそう)自信！

→ これまでの学びを駆使して

それぞれの発達段階に応じて、薫の子だれもが、子どもらしく育つ(いられる)教育計画をめざしています。



◆◆ 校長室より ◆◆

2025年(令和7年)巳年

今年の干支は“巳”～蛇には一般的にネガティブなイメージもありますが、古来より豊穡や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物とされてきました。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療・治療・再生のシンボルとされてきました。努力や準備が実を結び始める年を示す意味もあるそうです。

今年は、薫小学校創立70周年の節目の年。

子ども達にも薫小学校にも
たくさんの実が結ぶ..よい年
になるといいですね。

